



2022年5月23日発行

## 安全データシート (SDS : Safety Data Sheet)

### 1. 化学品及び会社情報

化学品の用途、名称 : 人造大理石トップの連結 グループ 3 (ブラックストーン、ブラウンストーン)、接着剤セット 硬化剤 B 剤

供給者の会社名称 : 株式会社 LIXIL

住所 : 東京都品川区西品川一丁目 1 番 1 号

電話番号 : 0570-090-521

**項目 2 以降は、2 頁以降を参照**

## 安全データシート

(SAFETY DATA SHEET)

## 1. 化学品及び会社情報

製品名	ラピード®シーム接着剤 B成分
推奨用途及び使用上の制限	接着剤の硬化剤
会社名	株式会社エービーシー商会
住所	東京都千代田区永田町2-12-14
担当部門	デザインマテリアル事業部
電話番号	03-3507-7158
FAX番号	03-3581-4939

作成 2006年4月1日

改訂 2022年5月23日

整理番号 RAP-013

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類 (混合物)

物理化学的危険性

有機過酸化物 : TYPE G

健康に対する有害性

急性毒性(経口) : 区分5

急性毒性(皮膚) : 区分5

急性毒性(吸入) : 区分5

環境に対する有害性

水生環境有害性(急性): 区分2

※記載がないものは分類対象外または分類できない。

## GHSラベル要素 (混合物)

【絵表示】

なし

【注意喚起語】

**警告**

【危険有害性情報】

- ・飲み込むと有害のおそれ。
- ・皮膚に接触すると有害のおそれ。
- ・吸入すると有害のおそれ。
- ・水生生物に非常に強い毒性。

## 注意書き

【予防策】

- ・環境への放出を避けること。

【対応】

- ・気分が悪い時は医師に連絡すること。

【保管】

- ・容器を密閉し、涼しく換気の良い場所で保管すること。
- ・施錠して保管すること。

【廃棄】

- ・内容物/容器を適切な焼却炉で焼却処理するか、許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

### 3. 組成, 成分情報

[物質の特定] 単一製品・混合物の区別：混合物

化学名	ジベンゾイルペルオキシド	ジエチレングリコールジベンゾエート	シプロピレングリコールジベンゾエート
含有量(%)	< 5 %	17 ~ 20 %	74 ~ 78 %
化学式	(C <sub>6</sub> H <sub>5</sub> CO) <sub>2</sub> O <sub>2</sub>	C <sub>18</sub> H <sub>18</sub> O <sub>5</sub>	C <sub>20</sub> H <sub>22</sub> O <sub>5</sub>
官報公示整理番号	3-1349	3-1390	3-1390
CAS No.	94-36-0	120-55-8	27138-31-4
国連分類	クラス5.2		
国連番号	3102,04,06,07,08,09		

### 4. 応急措置

- 眼に入った場合 : 直ちに清浄な大量の水で最低20分以上洗い流す。  
 すすぎ中は眼を大きく開ける。  
 容易に取り外すことができるのであればコンタクトレンズを外す。  
 刺激が続く場合は医師の診察を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染された衣服は直ちに脱ぐこと。  
 水、シャワーもしくは多量の石鹸と水で洗い流す。  
 皮膚の炎症や発疹が発生した場合は、医師の診察を受ける。  
 再利用する前に汚染された衣類を洗う。
- 吸入した場合 : 呼吸が困難な場合は、新鮮な空気に移し、呼吸しやすい位置で休息させる。  
 呼吸器症状や気分が悪い場合は、医師の診察を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 医師の助言なしに吐かせないこと。  
 吐き気と嘔吐を伴う胃腸管への刺激があるかもしれない。
- 急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状 : 吸入するとアレルギーや喘息の症状、呼吸困難を引き起こすことがある。  
 アレルギー性皮膚反応を引き起こす可能性がある。
- 緊急の治療と必要な特別な治療の適応 : 皮膚に接触すると、既存の皮膚炎の状態が悪化する可能性がある。  
 患者の個々の反応に基づいて、医師の判断をあおぐ。

### 5. 火災時の措置

- 消火剤 : 噴霧水、泡、ドライケミカル、二酸化炭素
- 使ってはならない消火剤 : 棒状注水、ハロゲン化消火器  
 水噴霧は、火にさらされた容器を涼しく保つために使用される場合がある。
- 化学物質から生じる特定の危険有害性 : 密閉された容器は、加熱すると破裂する可能性がある。  
 静電気に注意すること。  
 火災時には、熱分解または燃焼により、刺激性で毒性の高いガスを発生する可能性がある。
- 消防士のための特別な保護装置と注意事項 : 火災の場合は、全面陽圧自給式呼吸器と防護服を着用すること。  
 水スプレーで容器を冷たく保つこと。

### 6. 漏出時の措置

<p>人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置</p>	<p>:すべての発火源を排除する。</p> <p>除去が完了するまで、必要に応じてエリアへのアクセスを制限すること。</p> <p>「8. ばく露防止及び保護措置」で推奨されている個人用保護具を使用すること</p> <p>安全であれば、漏れを止めるか減らす。</p> <p>可能であれば、漏出場所を換気すること。</p> <p>除去は、訓練を受けた担当者のみが実施すること。</p> <p>漏出物には触れないこと。</p> <p>緊急用機器(火災、流出、漏れなど)をすぐに利用できるようにする。</p> <p>関係する政府、労働安全衛生および環境当局に通知すること。</p>
<p>環境に対する注意事項</p>	<p>:漏出物が下水道や水路に入るのを防ぐこと。</p> <p>適切な政府、労働安全衛生および環境当局に通知すること。</p>
<p>封じ込め、浄化の方法 及び機材</p>	<p><u>少量の漏出の場合</u></p> <p>漏出物を吸収性材料(砂またはその他の不燃性吸着剤)で吸収する。</p> <p>密閉のできる適切にラベル付けされた容器に残留物をいれること。</p> <p>漏出箇所を清掃すること。</p> <p><u>多量の漏出の場合</u></p> <p>吸収性材料を使用して、溝を掘ったり、堤防を掘ったりして、液体を封じ込めること。</p> <p>適切に処分するために、回収ドラムまたはタンクローリーで回収すること。</p> <p>汚染された表面を水または水性洗浄剤で洗浄すること。</p> <p>「13.廃棄上の注意」に示されている規制に従って材料を廃棄すること。</p>

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 【取扱い】

技術的対策 :「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、必要に応じて保護具を着用する。

安全取扱  
注意事項 :眼、皮膚、衣服に触れないこと。

内部で服用しないこと。

十分な換気を行なって使用すること。

蒸気/ガス/粉じんを吸い込まないこと。

換気が不十分な場合は、呼吸用保護具を着用すること。

使用しないときは、容器を閉じたままにすること。

防爆装置を含む、火花を出さないタイプの工具および装置を使用すること。

静電気の発生を防ぐために、適切にアースされた接続を使用すること。

緊急用機器(火災、流出、漏れなど)をすぐに利用できるようにすること。

すべてのコンテナにラベルが付いていることを確認すること。

熱、火花、裸火の近くで使用、保管、こぼしたり、注いだりしないこと。

接触回避 :「10. 安定性及び反応性」を参照。

衛生対策 :この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

### 【保管】

保管条件 :適切なラベルの付いた容器に保管すること。

- 容器はしっかりと閉めて保管すること。
- 熱や発火源から離して保管すること。
- 直射日光から保護すること。
- 容器は、30°Cを超えない温度で、涼しく、換気の良い場所に保管すること。
- 保管場所およびその近くに適切な消火器を用意すること。
- 互換性のないものとは別に保管すること。
- 電荷を避けるために、接続は接地すること。

安全な容器包装材料 : 消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

- 管理濃度 : データなし
- 許容濃度 : ジベンゾイルペルオキシド  
 作業環境許容濃度 (TLV-TWA) 5mg/m<sup>3</sup>
- 設備対策 : 局所排気装置を使用すること。  
 空中ミストと蒸気を制御するために必要な場合は、局所排気装置を使用すること。  
 限られたスペースでは機械的換気を行なう。
- 一般的 : 個人用保護具の使用と選択は、製品の危険性、現場、および製品の取り扱い方法に関連する。  
 一般的には、最低限の予防策として、腕、脚、体を保護するサイドシールド付きの安全メガネと作業服を使用することを推奨。さらに、この製品を取り扱う場所を訪れる人は、少なくともサイドシールド付きの保護メガネを着用する必要がある。
- 呼吸用保護具 : 空気中の濃度がこのセクションに記載されている制限を超える可能性がある場合は、ハーフフェイスフィルターマスクまたは空気供給呼吸装置を使用する。  
 重大なミスト、蒸気、またはエアロゾルが発生する場合は、承認された呼吸器を使用すること。  
 適切なフィルター材料は、取り扱う化学物質の量と種類によって異なる。
- 眼の保護具 : この製品を取り扱う際は、スプラッシュケミカルゴーグルの使用を推奨する。  
 眼を洗う噴水を利用できるようにすること。
- 手の保護具 : ポリエチレン手袋が最適。  
 手袋は定期的に交換すること。
- 皮膚及び身体の保護具 : この製品を取り扱う際は、耐薬品性のスーツの使用をすること。  
 安全シャワーを利用できるようにすること。

## 9. 物理的及び化学的性質

### 物理的状态

- 形状 : 液体(ペースト状)
- 色 : 無色
- 臭い : エステル
- 臭いの閾値 : データなし
- pH : データなし
- 融点・凝固点 : データなし
- 沸点、初留点及び沸点範囲 : 340°C

引火点	:224.4°C
蒸発速度	:データなし
燃焼性(固体、気体)	:データなし
燃焼又は爆発範囲	:データなし
蒸気圧	:0.00005 mmHg (69°C)
蒸気密度	:9.38
比重(相対密度)	:1.17 ~1.20(25°C)
溶解度	:< 0.01%
n-オクタノール/水分配係数	:データなし
分解温度	:データなし
粘度(粘性率)	:90 cps(25°C)
相対ガス密度	:データなし
粒子特性	:データなし

## 10. 安定性及び反応性

### 【反応性】

化学的安定性	:過酸化ベンゾイルは化学的に不安定であり、特定の条件下でのみ取り扱う必要がある。 しかし、この製品は、沸点が340°Cの希釈剤との液体混合物のために安定する。
危険有害反応性	:危険な重合は発生しない。
避けるべき条件	:熱、炎、および発火源を近づけない。
混触危険物質	:強酸化剤、還元剤、アミン、強酸、強塩基
危険有害な分解生成物	:二酸化炭素、一酸化炭素、安息香酸、ベンゼン、安息香酸フェニル、ジフェニル

## 11. 有害性情報

### 急性毒性 経口

ジエチレングリコールジベンゾエート	: LD50 (Rat): 4190 mg/kg
ジプロピレングリコールジベンゾエート	: LD50 (Rat): 3914 mg/kg
ジベンゾイルペルオキシド	: LD50 (Rat): >5000 mg/kg

### 経皮

ジエチレングリコールジベンゾエート	: LD50 (Rat): > 2000 mg/kg
ジプロピレングリコールジベンゾエート	: LD50 (Rat): > 2000 mg/kg
ジベンゾイルペルオキシド	: データなし

### 吸入

ジエチレングリコールジベンゾエート	: データなし
ジプロピレングリコールジベンゾエート	: LC50 (Rat, 4 h): > 200 mg/l
ジベンゾイルペルオキシド	: LC50 (Rat, 4h): >24.3 mg/l

### 反復投与毒性

ジエチレングリコールジベンゾエート	: NOEL (Rat, in feed, 90 d): 1000 mg/kg
ジプロピレングリコールジベンゾエート	: NOAEL (Rat, in feed, 90 d): 1000 mg/kg
ジベンゾイルペルオキシド	: Chronic dietary administration to rat/ affected organ(s):test/ signs: atrophy

### 皮膚腐食性/刺激性

ジエチレングリコールジベンゾエート	: (Rabbit, 4 h): None
ジプロピレングリコールジベンゾエート	: Rabbit, 4 h): None
ジベンゾイルペルオキシド	: (Rabbit, 4 h): None



ジベンゾイルペルオキシド : LC50 (Oncorhynchus mykiss, 96 h): 0.0602 mg/l

LC50 (Oryzias latipes, 96 h): 0.24 mg/l

#### 水生無脊椎動物

ジエチレングリコールジベンゾエート : LL50 (daphnia, 48 h): 6.7 mg/l

シプロピレングリコールジベンゾエート : LL50 (daphnia, 48 h): 19.3 mg/l

ジベンゾイルペルオキシド : EC50 (daphnia, 48 h): 0.07 mg/l

#### 水生植物に対する毒性

ジエチレングリコールジベンゾエート : データなし

シプロピレングリコールジベンゾエート : データなし

ジベンゾイルペルオキシド : EC50 (Algae, 72 h): 0.07 mg/l (biomass), 0.44 mg/l (growth rate)

#### 慢性毒性

##### 魚類

ジエチレングリコールジベンゾエート : データなし

シプロピレングリコールジベンゾエート : データなし

ジベンゾイルペルオキシド : データなし

#### 水生無脊椎動物

ジエチレングリコールジベンゾエート : データなし

シプロピレングリコールジベンゾエート : データなし

ジベンゾイルペルオキシド : データなし

#### 水生植物に対する毒性

ジエチレングリコールジベンゾエート : LL50 (Alga, 72 h): 10.94 mg/l

シプロピレングリコールジベンゾエート : LL50 (Alga, 72 h): 4.9 mg/l

ジベンゾイルペルオキシド : データなし

#### 持続性と分解性

##### 永続性

ジエチレングリコールジベンゾエート : log kow 3.04

シプロピレングリコールジベンゾエート : log kow 3.88

ジベンゾイルペルオキシド : log kow 3.46

##### 生分解

ジエチレングリコールジベンゾエート : 93 % (28d, Ready Biodegradability: CO2 Evolution Test) すぐに生分解

シプロピレングリコールジベンゾエート : 87 % (28d, Ready Biodegradability: CO2 Evolution Test) すぐに生分解

ジベンゾイルペルオキシド : すぐに生分解、83%(21d)

#### 生物化学的酸素要求量

ジエチレングリコールジベンゾエート : データなし

シプロピレングリコールジベンゾエート : BOD-5: 650 mg/g

#### 化学的酸素要求量

ジエチレングリコールジベンゾエート : データなし

シプロピレングリコールジベンゾエート : 2230 mg/g

#### BOD/COD比

ジエチレングリコールジベンゾエート : データなし

シプロピレングリコールジベンゾエート : データなし

#### 生体内蓄積の可能性

ジエチレングリコールジベンゾエート : BCF 120

ジプロピレングリコールジベンゾエート : BCF 192.5

土壤中の移動性:環境コンパートメントへの既知または予測される分布

ジエチレングリコールジベンゾエート : 3.2 (Measured)

ジプロピレングリコールジベンゾエート : 3.6 (Measured)

オゾン層への有害性

データなし

その他

データなし

**13. 廃棄上の注意**

外部に委託する場合

許可を受けた産業廃棄物処理業者に、内容を明確にして処理を委託する。

内部処理をする場合

該当法規に従って、廃棄物処理を行う(国、都道府県並びに地方の法規、条例に従う)。

下水設備に流すなど地下水系汚染しない。

**14. 輸送上の注意**

輸送において危険物と分類されていない。

**15. 適用法令**

消 防 法 : 法第2条第7項危険物第4類引火性液体(第3石油類)

: ジベンゾイルペルオキシド 法第2条第7項危険物第5類自己反応性物質(有機過酸化物)

安 衛 法 : ジベンゾイルペルオキシド 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条、施行令第18条別表第9)

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)

**16. その他の情報**

記載事項の問い合わせ先 : 株式会社エービーシー商会 デザインマテリアル事業部

TEL 03-3507-7158

本製品の安全データシートは当社の製品を安全に使用して頂くために、注意しなければならない事項を簡潔にまとめたものです。

本製品の適正な使用については使用者の責任において行って下さい。